

令和5年1月12日

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第142号

令和4年11月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年11月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

また、11月分の公表された交付金単価は、肉専用種24,797.0円、乳用種32,222.0円の交付となります。交雑種の発動はありませんでした。

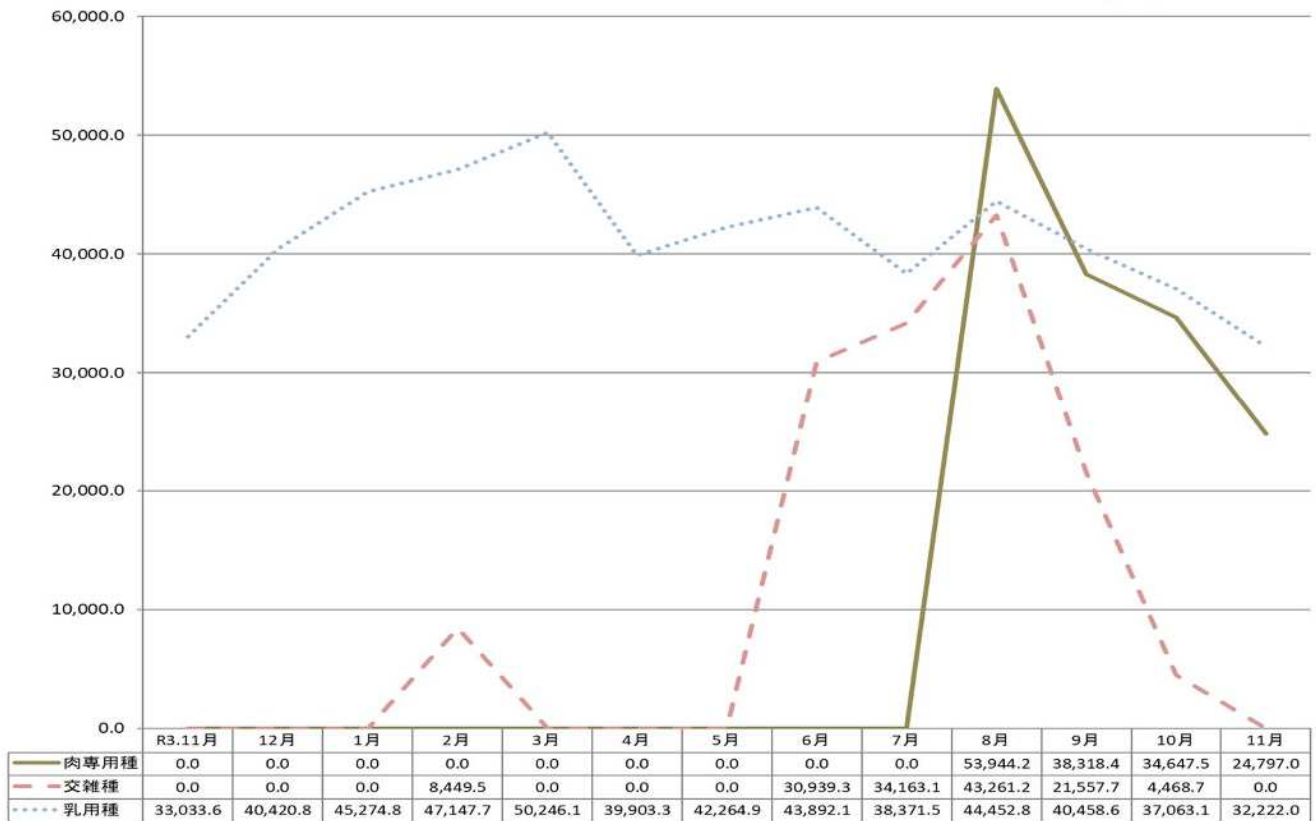
詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年11月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

トピックス

- 令和4年11月分の単価(概算払)が公表されました。
- 11月分の交付金交付は、1月27日(金)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

12月の牛枝肉価格は、社用接待や宴会などで外食需要が堅調だったことから上方修正された。しかし個人消費の冷え込みは深刻で、量販筋の引き合いは弱く、12月としては盛り上がりには欠く展開だった。小売りの年末年始の手当てが遅れていることも影響した。

11月の牛肉価格は、和牛は去勢A5が前月比65円安の2,675円（前年同月比65円安）、同A4は42円高の2,395円（同82円安）、同A3は40円高の2,174円（同75円安）、同A2は121円高の1,940円（同23円高）。鍋物商材が動き始めたほか、外食やインバウンド需要が活性化した。しかし、物価高の影響で内食は弱く2等級以外は前年実績を下回り、4等級は11月としては2014年(2,156円)以来の2,400円割れ。

交雑牛はB4が25円高の1,729円（同44円高）、B3は12円安の1,518円（同12円安）、同B2は21円安の1,337円（同45円高）。乳去勢はB2で1,155円と続伸。

輸入牛肉が高騰する中で乳去勢のヒレ、チマキ、ソトモモなど一部の部位に引き合いが集中し、今後も高止まりで推移しそう。

観光産業が盛り上がりを見せる一方で、相次ぐ食品価格や光熱費の値上げが家計を圧迫し、高単価品の牛肉は高根の花になりつつある。豚、鶏の価格も堅調な中で、小売りは販促を打ちづらい。ふるさと納税の駆け込み需要で、あえてスーパーで牛肉を購入しなくなっていることも影響。量販店の年末商戦のオーダー年々後半にずれ込み、12月2週目位に入っても年末手当は低調だった。年明けからは増税などの懸念材料が山積し、再び消費は落ち込むとの見方。外食筋も需要はヒレなどに偏っており、年明けから消費が一気に冷え込むかもしれない。和牛去勢A5で2,500～2,600円、交雑種は去勢B4で1,700円、B3は1,500円前後。輸入品の高値でスソ物は堅調。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌1月号 抜粋）